

報道関係各位

プレスリリース

2026 年 9 月 1 日
株式会社 Liberaware

Liberaware が千葉県のオープンイノベーションプログラム 「CHIBA OPEN INNOVATION PROGRAM『PORT』」のホスト企業に採択 ～ロボット・AI・IoTをつなぐ次世代現場 DX サービスの創出を目指し、全国から共創パートナーを募集～

株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役：関 弘圭、以下「当社」）は、千葉県が主催し、株式会社 eiicon（本社：東京都港区、代表取締役社長：中村 亜由子、以下「eiicon」）が運営するオープンイノベーションプログラム「CHIBA OPEN INNOVATION PROGRAM『PORT』」において、ホスト企業 4 社のうちの1社として採択されたことをお知らせします。

また、本プログラムを通じて、ロボット・AI・IoTをつなぐ次世代現場 DX サービスの創出に向けた共創パートナーの募集を本日より開始いたします。



■背景と目的

当社はこれまで、狭小空間点検ドローン「IBIS」シリーズをはじめとするロボティクスや空間データ活用技術を通じて、インフラ・プラントなど様々な分野で点検・保全の現場課題を解決してまいりました。

一方で、人手不足や熟練者の減少、安全管理、情報の分断といった課題は、一次産業や施設運営、防災・災害対応など、あらゆる現場に共通する深刻な課題となっています。近年、ロボットや AI、IoT をはじめとする先端技術の導入が進む中、各技術が個別のシステムとして導入・運用されるに留まり、現場全体の包括的な課題解決や業務効率化に十分に寄与できていない現状があります。

そこで、個別技術だけでは解決できない現場の複合的な課題を打破し、産業全体の DX を加速させるべく、本プログラムを活用し、全国から共創パートナーを募集する運びとなりました。

■概要

本共創事業では、設備保全におけるデータの取得・可視化・解析・表示をシームレスに繋ぎ、現場 DX を支える当社の空間 iPaaS「LAPIS」を基盤に、現場を持つ事業者と、ロボット、ドローン、AI、IoT、センシング、業務システム等を持つ企業をつなぎ、現場データを実際の業務や意思決定に生かす新たなソリューションを共創します。

今後、一次産業における生産・営農判断、商業・公共・エンターテインメント施設の設備保全や安全管理、防災・災害時の情報収集・現場運営など、新たな領域での実証・事業化に挑戦するほか、各領域で生まれた技術やサービスを「LAPIS」上で展開し、企業や技術が継続的なつながりを生む、新たな現場 DX サービスが生まれる産業横断型エコシステムの構築を目指します。

■募集テーマ

「ロボット・AI・IoTをつなぐ次世代現場 DX サービスの創出」

■求める技術・領域

- ・ロボット・IoT等の現場データ取得技術を有する企業
ロボット、カメラ、各種センサー等を活用し、設備の映像・音・振動・温度等を取得する技術
- ・AI・データ解析技術を有する企業
画像・映像・音響・センサーデータから設備異常や劣化、故障予兆を検知・分析する技術
- ・3D・デジタルツイン関連技術を有する企業
点群や3Dモデル、位置情報等を活用し、現場の状態や経年変化を空間上で可視化する技術

■募集概要

- ・募集対象：全国のスタートアップ、中小企業、大企業、研究機関など
- ・募集内容：ホスト企業4社が掲げる共創テーマに対する技術・サービス・事業アイデア等
- ・応募締切：2026年9月30日（水）23:59
- ・応募方法：
「CHIBA OPEN INNOVATION PROGRAM『PORT』」特設ページよりエントリーください。
<https://eiicon.net/about/chiba-oip-port>

■今後のスケジュール

- ・2026年9月1日：エントリー受付開始
- ・9月9日：プログラム説明会（オンライン）
- ・9月30日：募集締切
- ・10月以降：書類選考・面談
- ・11月以降：マッチング・共創プロジェクト開始（予定）

<プログラム説明会（オンライン）主催者：eiicon>

説明会では、本プログラムの概要や本プログラムの内容詳細についての説明のほか、質疑応答も広く受け付けます。プログラム参加にご関心のある方は、お気軽に下記よりお申込みください。

2026年9月9日（水）14:00～15:00（オンライン）

プログラム説明会 参加申込 URL：<https://chiba-oip-port.peatix.com>

■今後の展望

千葉県という"港（PORT）"を起点に、当社が培ってきた空間 iPaaS「LAPIS」や狭小空間点検ドローンなどの経営資源・技術と、全国のパートナー企業の先進的な技術を結び付けることで、新たなイノベーションの潮流を生み出します。実証実験にとどまらず、パートナー企業と共に継続的に成長できる事業モデルやエコシステムを構築し、誰もが安全な社会の実現と産業全体の持続的な発展に貢献してまいります。

▼株式会社 Liberaware について

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集した画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。当社は、ビジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けします。

会社名：株式会社 Liberaware（リベラウェア）

代表者：関弘圭（ミン・ホンキュ）

所在地：千葉県千葉市中央区中央 3-3-1

設立：2016年8月22日

事業内容：

- ・ドローン事業：ドローン等を用いた調査・点検・測量サービス、自社開発のドローン等の販売・レンタルサービス
- ・デジタルツイン事業：ドローン等により取得したデータの画像処理、データ解析サービス、及び当社画像処理技術のライセンス提供
- ・ソリューション開発事業：ハードウェアからソフトウェアまで幅広いソリューションを提供する受託開発事業

URL：<https://liberaware.co.jp/>

Xアカウント：<https://x.com/liberaware>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社 Liberaware 広報：前

TEL：090-9019-9057 / 043-497-5740 MAIL:pr@liberaware.com